

「健康のまち行動計画策定にむけて」

# 「ウエルネス・アクションプラン」

その2

## ●ウエルネスの意味は・・・

ヘルスよりも積極的かつ総合的な健康観を指し、運動、食事、休養といった従来の健康づくりの捉え方に加えて、趣味やおしゃれなどのライフスタイル、さらには自然保護や環境問題までを含めた、より高度で発展性のある生活環境を維持しようという幅広い考え方の意が含まれています。

## ●第一回市民懇話会の内容

二十人の懇話会委員は九月十四日の市民懇話会の中で、それぞれが地域でどんなふう暮らしてきたか、様々な体験を通してどんな思いで生活しているかなどを語り合いました。

障害者が虫歯になると甲府まで行かなければ治療ができず、とても大変なのです。  
地域の偏見もまだまだありますし、障害が移ると言われたこともあります。ショックでした。



偏見は小さいときからの教育が大切ではないかしら…。  
学校や地域の中で高齢者や障害者との交流が持てたら良いのかも…。  
人とふれあうことや助け合うことが大切なことだと思う。

できれば行政にすべてを託すのではなく、地域の問題としてみんながどう考えるか、意見を出し合って、具体策をみつけていきたいね。



悪くなる前に治療ができるよう市や歯科医師の先生に相談してみてもどうだろうか？



今までの行政と市民の関係は「やってほしい」「難しい」と平行線をたどることが多かったのではないだろうか？  
これからはお互いが歩み寄って、お互いが知恵を出し合って良いまちづくりをしていきたいね。



子どもも病んでいる状況もある。不登校や虐待、学校崩壊など学校だけでなく地域や家庭が中心となって支えていくことが大切だと感じている。



今後、市民懇話会では十一月には「願い」、一月には「知恵」、三月には「力」をテーマに、三回の開催を予定しています。  
みんなで、健康のまちのイメージを作っていきたいと思っています。

「生活者主体のまちづくり」  
市内ワーキンググループが  
結成されました

市民、企業、学校、行政が一つになってこそ「健康で生きがいのある市民の暮らしの実現」につながります。

そこで、市役所職員自ら学び、発想の転換や積極性、柔軟性などを身につけ、幅広い視点を持つことが重要です。市民とともに推進するまちをめざすために、職員研修を十月十五日に実施しました。

「市民参画のまちづくり」と、「ヘルスプロモーションとまちづくり」についてそれぞれ講義を受け学習しました。

その後、各課の代表職員によるワーキンググループを結成しました。まちづくりを推進するための意見や提言など活発な意見交換をし、市民懇話会との整合性を持ち、今後活発に進めていく予定です。

※ウエルネス・アクションに関するご意見など、お待ちしております。  
問合せ  
健康推進課 保健指導担当